

## 1. 候補樹木

### (1) 概要

指定番号	231	樹種	イチヨウ	呼称	二木神社のいちよう
推定樹齢	約130年	樹高	19.1m	幹周	334cm
枝下高	3.3m	枝張り	東西12.8m・南北12.7m		
所在地	宮城野区田子三丁目2-40（二木神社内）				
所有者	二木神社				
指定内容	保存樹木及び樹木保存区域の指定				
指定基準	杜の都の環境をつくる条例 施行規則第13条第1号、同第2号、同第4号				

### (2) 位置



図1 位置図（広域）



図2 位置図（拡大）

### (3) 候補樹木の外観



写真1 候補樹木全景（南側より撮影）

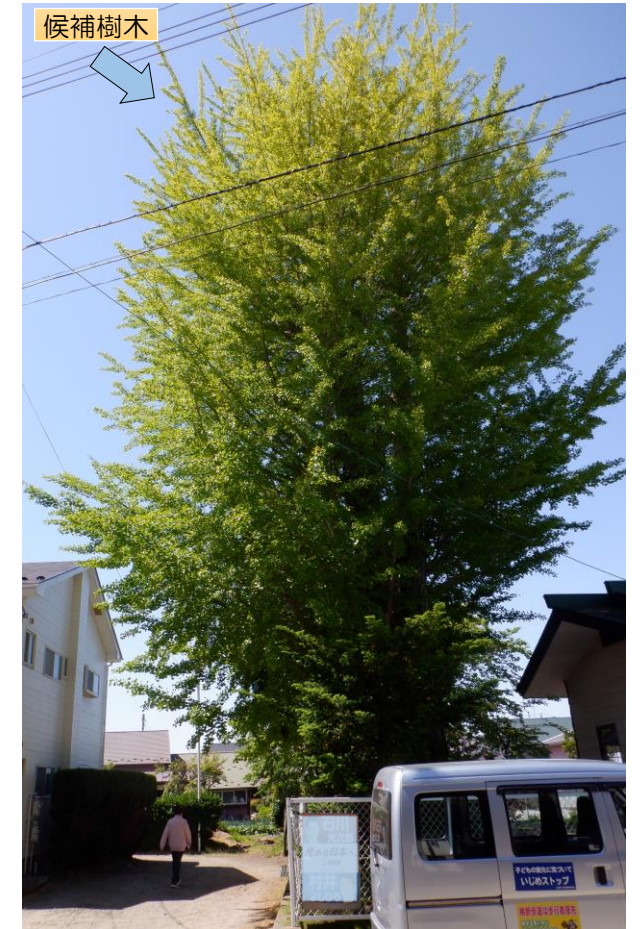


写真2 候補樹木全景（北側より撮影）



写真3 樹幹と枝葉の様子（北西側より撮影）



写真4 気根が発達しつつある（東側より撮影）



## 2. 候補樹木の詳細

### (1) 来歴等

「二木」という地名は、かつて奥州藤原氏との合戦の際に立ち寄った源頼朝が2本のスギの巨木に馬を繋ぎ休息した際、この地を二木と呼ぶようにと言い置いて出陣したことによりそう呼ばれるようになったとされている。二木神社は田子村の村社として地区の信仰を得ていたもので「庚申塚」「馬籠神」「不動明王像」の石碑が祀られている。

神社境内にイチヨウが植えられたことに関する故事や来歴等は不明であるが、イチヨウは二木神社のご神木として祀られ、地域住民から大切にされてきたものである。鳥居を挟んで南側にはもう1本のイチヨウ（雌木）が植えられており、イチヨウを雌雄一対として大切に育てようという当時の人々の気持ちが伝わってくるようである。

### (2) 樹勢調査結果

候補樹木の樹齢は大きさなどから約130年程度と推定され、樹勢は旺盛であり、病虫害などは見られない。

過去の下枝切除に起因する空洞が樹木調査により確認されたが、樹勢が旺盛なことや、先述のとおり神社のご神木として大切に育てられてきたことから、今後の適切な管理により保全を図ることができるかと判断される。

### (3) その他

候補樹木は、保存樹木指定について所有者である神社より要望があり、現地調査及び樹木医診断を行った。

本市は国指定天然記念物でもある「銀杏町のいちよう」など23本のイチヨウを保存樹木に指定している。それらの平均の樹高と幹周はそれぞれ約23m、410cmであることから、今回の候補木は比較的小さい部類に属するが、二木神社の周囲には大きな樹木があまりないこともあり、神社周囲においては大きさ以上の存在感を示しており、地域のランドマークとしても重要な存在と考えられる。

## 3. 樹木保存区域の設定

保存樹木の樹木保存区域は樹木の存する土地の樹冠投影範囲を基本とすることから、現地測量結果に基づき、境内地において社務所に重なる部分等を除いた樹冠投影範囲（A=53.92㎡）を樹木保存区域に指定する。（図3、図4参照）

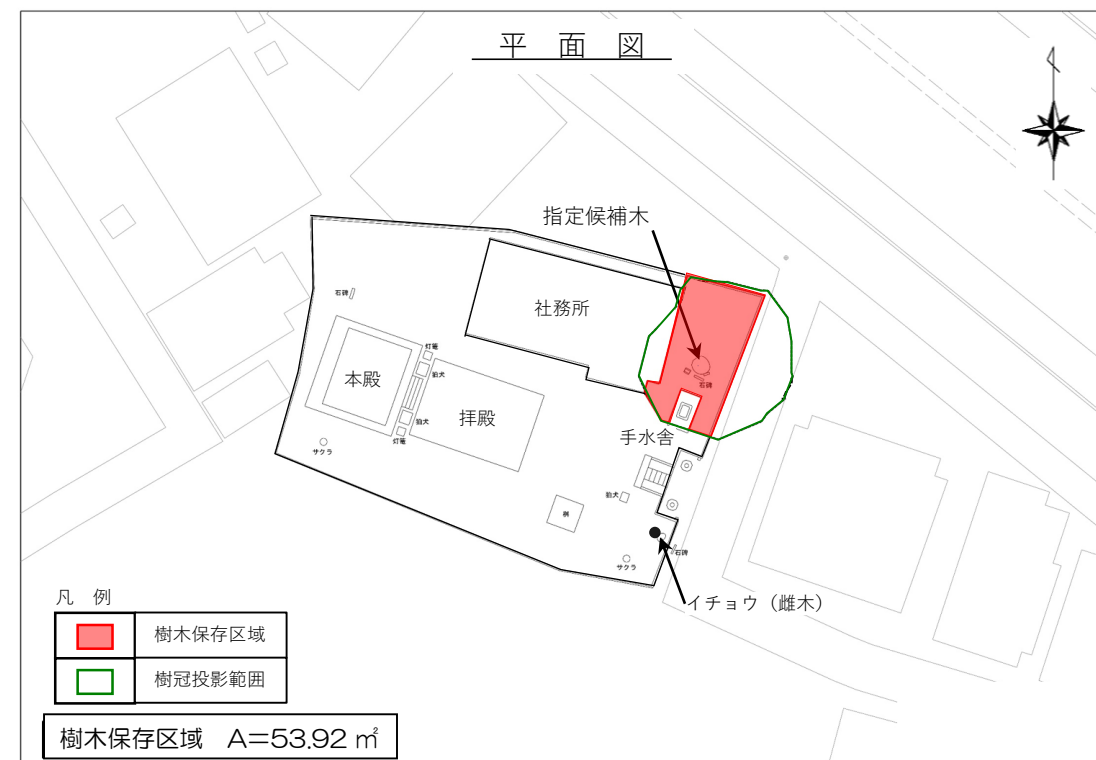


図3 樹木保存区域（平面図）

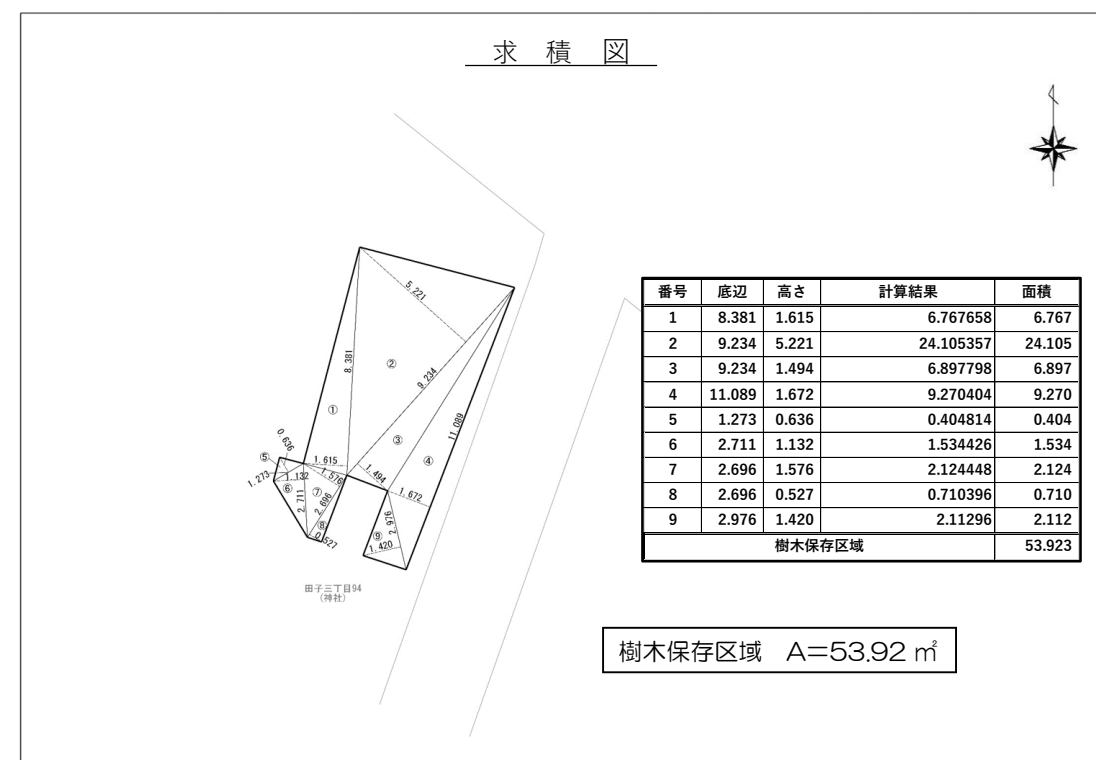


図4 樹木保存区域（求積図）

以上より、本候補樹木は、保存樹木の指定に関する基準を満たしており、指定に相応しい樹木であると考えられる。